

28

午前の部

試験問題	試験時間
1～105	10時00分～12時40分

● 指示があるまで開かないこと。

＜注意事項＞

1. 問題の数

試験問題は1～105まで105問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午前

受験地	東京都	受験番号	00027
氏名	栄養花子		

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県			
	○	○	●	○	○	○	○	○			
受験番号	万	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	拾	①	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
巻	①	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

(1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号 201 の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
			↓		
201	①	②	③	●	⑤

(2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

(1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… 

(解答にならない。)

(2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。

(3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

1 健康や予防の概念に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) プライマリヘルスケアとは、患者が最初に接する医療の段階を指す。
- (2) 食育活動は、特異的一次予防を目的としている。
- (3) 二次予防とは、個人が自らの努力で健康を改善することを指す。
- (4) WHO の健康の定義には、宗教的な概念が含まれている。
- (5) 疾病に罹患して病状が進行した段階でも、予防の概念を適用することができる。

2 わが国の公衆衛生の歴史上、重要な出来事である。年代順に古いものから並べた。正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 最初の保健所の設置
- b 医制の公布
- c 地域保健法の制定
- d 国民皆保険制度の導入

- (1) $a \rightarrow c \rightarrow b \rightarrow d$
- (2) $a \rightarrow d \rightarrow b \rightarrow c$
- (3) $b \rightarrow a \rightarrow d \rightarrow c$
- (4) $b \rightarrow a \rightarrow c \rightarrow d$
- (5) $b \rightarrow d \rightarrow a \rightarrow c$

3 大気中の物質と、それに関連する地球環境問題の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 一酸化炭素 —— 砂漠化
- (2) 二酸化炭素 —— オゾン層破壊
- (3) 一酸化窒素 —— 海洋汚染
- (4) 二酸化窒素 —— 地球温暖化
- (5) 二酸化硫黄 —— 酸性雨

4 廃棄物に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 学校給食施設からの残菜は、一般廃棄物である。
- (2) 一般廃棄物の総排出量は、年々増加している。
- (3) 一般廃棄物のリサイクル率は、年々減少している。
- (4) 一般廃棄物の処理責任は、市町村にある。
- (5) 産業廃棄物の処理責任は、都道府県にある。

5 保健統計指標と調査名の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 出生率 —— 国民生活基礎調査
- (2) 純再生産率 —— 人口動態統計調査
- (3) 有訴者率 —— 患者調査
- (4) 受療率 —— 国民健康・栄養調査
- (5) 離婚率 —— 国勢調査

6 疫学研究に関する記述である。に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

A市在住の45歳以上の男性日系人を対象とした a 研究では、飽和脂肪酸の摂取量が10 g/日以上群に対して、10 g/日未満群における10年間の脳卒中死亡率の b は2.1であった。

- (1) コホート —— 相対危険
- (2) コホート —— 寄与危険
- (3) 症例対照 —— 相対危険
- (4) 症例対照 —— オッズ比
- (5) 症例対照 —— 寄与危険

7 ランダム化比較対照試験に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 仮説を設定するために用いられる。
- (2) 曝露と結果との時間的關係が明確である。
- (3) 未知の交絡因子について制御しやすい。
- (4) 発生頻度の低い疾患に適用しやすい。
- (5) 研究倫理上の問題が生じにくい。

8 ある疾病の有病率が高い集団 A と、低い集団 B に対して、同じスクリーニング検査を行った。偽陽性率と陽性反応的中度に関して、理論上想定される大小關係の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | 偽陽性率 | 陽性反応的中度 |
|-----|---------|---------|
| (1) | $A > B$ | $A > B$ |
| (2) | $A > B$ | $A = B$ |
| (3) | $A = B$ | $A > B$ |
| (4) | $A = B$ | $A = B$ |
| (5) | $A < B$ | $A > B$ |

9 21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)の最終評価(平成 23 年)で、目標を達成した項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 日常生活における歩数の増加
- (2) 自殺者数の減少
- (3) 食塩摂取量の減少
- (4) メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人数の減少
- (5) 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加

10 「健康づくりのための身体活動基準 2013」に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「身体活動」は、「生活活動」と「運動」に分けられる。
- (2) 18 歳未満の者について、運動に関する基準が示された。
- (3) 18～64 歳の者について、体力に関する基準が示された。
- (4) 65 歳以上の者について、身体活動に関する基準が示された。
- (5) 健診結果に応じた運動指導の考え方が示された。

11 喫煙に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 喫煙は、くも膜下出血のリスク因子である。
- (2) 母親の喫煙により、乳幼児突然死症候群のリスクが高まる。
- (3) 最近 10 年間における男性の喫煙率は、低下傾向にある。
- (4) 未成年者へのたばこの販売は、健康増進法で禁じられている。
- (5) 21 世紀における第 2 次国民健康づくり運動(健康日本 21(第 2 次))では、成人喫煙率の数値目標が示されている。

12 飲酒に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 未成年者飲酒禁止法は、第 2 次世界大戦後に制定された。
- (2) 国民健康・栄養調査による飲酒習慣のある者の割合は、20 歳代で最も高い。
- (3) 飲酒は、血清トリグリセリド値を低下させる。
- (4) 飲酒は、食道がんのリスク因子である。
- (5) 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」に、男女差はない。

13 平成 20 年以降の国民健康・栄養調査結果における、成人男女別のメタボリックシンドロームが強く疑われる者の割合の組合せである。正しいのはどれか。1 つ選べ。

男性	女性
(1) 20～30%	5～15%
(2) 20～30%	15～25%
(3) 30～40%	5～15%
(4) 30～40%	15～25%
(5) 40～50%	15～25%

14 先天性風疹症候群に関する記述である。正しいのはどれか。2 つ選べ。

- (1) 妊娠初期の風疹感染が危険である。
- (2) 小児期に風疹感染の既往のある者が危険である。
- (3) 妊婦へワクチンを接種することが推奨されている。
- (4) 妊娠前に配偶者へワクチンを接種することが推奨されている。
- (5) 特徴的な症候に、二分脊椎症がある。

15 予防接種法による定期接種のワクチンである。誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- (1) BCG
- (2) ポリオ
- (3) 日本脳炎
- (4) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- (5) 麻疹風疹混合(MR)

16 「医療計画」に関する記述である。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 健康増進法に基づいて策定される。
- (2) 市町村単位で策定される。
- (3) 難病の治療に関する計画が含まれる。
- (4) 災害時における医療の確保に必要な事業計画が含まれる。
- (5) 三次医療圏とは、一般的な医療サービスを提供する地域区分である。

17 わが国の医療保険制度に関する記述である。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 全国健康保険協会管掌健康保険(協会けんぽ)は、自営業者を対象としている。
- (2) 訪問栄養指導は、給付の対象外となっている。
- (3) 70 歳以上の患者では、所得にかかわらず、患者窓口負担金の割合は一律である。
- (4) 保険料率は、保険者にかかわらず、同一の基準で定められている。
- (5) 65 歳以上の 1 人当たりの国民医療費は、65 歳未満の約 4 倍である。

18 人口 5 万人の市が行う業務である。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 飲食店の営業許可
- (2) 乳幼児健康診査
- (3) 結核発生時の接触者健康診断
- (4) 食品に関する細菌検査
- (5) 無料・匿名の HIV 検査

19 母子健康手帳に必ず記載しなければならない事項である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 妊婦の職業と環境
- (2) 乳児の食事摂取基準
- (3) 出産後の母体の経過
- (4) 乳児身体発育曲線
- (5) 予防接種の記録

20 要介護者に対し、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練を行い、居宅における生活への復帰を目的とした施設である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 介護老人福祉施設
- (2) 介護老人保健施設
- (3) 軽費老人ホーム
- (4) 地域包括支援センター
- (5) グループホーム

21 ヒトの細胞の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 細胞膜は、リン脂質の二重層からなる。
- (2) 赤血球には、ミトコンドリアが存在する。
- (3) リソソームでは、たんぱく質の合成が行われる。
- (4) 滑面小胞体では、グリコーゲン合成が行われる。
- (5) iPS細胞(人工多能性幹細胞)は、受精卵を使用する。

22 糖質と脂質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グルコースは、5個の炭素原子をもつ。
- (2) デオキシリボースは、6個の炭素原子をもつ。
- (3) ホスファチジルコリンは、糖質である。
- (4) リン脂質は、ホルモン感受性リパーゼにより分解される。
- (5) ホスファチジルイノシトールは、リン脂質である。

23 核酸に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) tRNA(転移RNA)は、脂肪酸を運ぶ。
- (2) RNAは、チミンを含む。
- (3) DNAポリメラーゼは、DNAを分解する。
- (4) ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)法は、DNAを増幅する。
- (5) アデニンとシトシンは、相補的塩基対をなす。

24 生体エネルギーと生体酸化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グルタチオンは、活性酸素の産生に関与する。
- (2) ATPは、高エネルギーリン酸化合物である。
- (3) 脱共役たんぱく質(UCP)は、ATP合成を促進する。
- (4) ATPの産生は、同化の過程で起こる。
- (5) 電子伝達系の電子受容体は、水素分子である。

25 酵素に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アポ酵素は、単独で酵素活性をもつ。
- (2) 基質との親和性が低いと、ミカエリス定数(K_m)は小さい。
- (3) 酵素活性の調節機構として、酵素たんぱく質のリン酸化がある。
- (4) アロステリック部位は、酵素の基質結合部位である。
- (5) アイソザイムは、同じ一次構造をもつ。

26 アミノ酸・たんぱく質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ドーパミンは、グルタミン酸から生成される。
- (2) γ -アミノ酪酸(GABA)は、チロシンから生成される。
- (3) ユビキチンは、たんぱく質合成に関与する。
- (4) オートファジー(autophagy)は、過食によって誘導される。
- (5) プロテアソームは、たんぱく質の分解に関与する。

27 糖質・脂質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 解糖系は、ミトコンドリアに存在する。
- (2) ペントースリン酸回路は、ゴルジ体に存在する。
- (3) 肝臓では、グルコース 6-リン酸からグルコースが生成される。
- (4) 脂肪酸合成は、核で行われる。
- (5) β 酸化は、リソソームで行われる。

28 情報伝達に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 交感神経終末の伝達物質は、アセチルコリンである。
- (2) 肝細胞のグルカゴン受容体刺激は、グリコーゲン合成を促進する。
- (3) アドレナリン受容体は、核内受容体である。
- (4) cAMP(サイクリック AMP)は、セカンドメッセンジャーである。
- (5) インスリンは、肝細胞のグルコース輸送体(GLUT 2)に作用する。

29 加齢に伴う変化に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 老年症候群では、日常生活動作(ADL)が低下する。
- (2) 起立性低血圧は、廃用症候群でみられる。
- (3) パーキンソン病は、認知症の原因となる。
- (4) 悪液質は、サルコペニアをきたす。
- (5) ロコモティブシンドロームは、更年期障害をきたす。

30 脳死を判定する必須項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 心停止を認める。
- (2) 瞳孔が収縮している。
- (3) 自発呼吸が消失している。
- (4) 脳波で α 波を認める。
- (5) 対光反射がある。

31 症候と検査に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) チアノーゼは、血清クレアチニン値の上昇により生じる。
- (2) 黄疸は、血清ビリルビン値の上昇により生じる。
- (3) 浮腫は、血漿膠質浸透圧の上昇により生じる。
- (4) 直腸温は、腋窩温より低い。
- (5) 吐血は、呼吸器からの出血である。

32 血液検査に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) HbA1c は、過去 1～2 週間の血糖値を反映する。
- (2) CRP(C 反応性たんぱく質)は、炎症の指標として利用される。
- (3) PSA は、胃がんの腫瘍マーカーである。
- (4) ALT は、AST より肝特異性が高い。
- (5) 血清アルブミン値は、ネフローゼ症候群で上昇する。

33 疾患の治療に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血液透析は、腹膜を用いた血液浄化法である。
- (2) アルブミン製剤の投与は、成分輸血にあたる。
- (3) 移植片対宿主反応は、輸血製剤中の赤血球が組織を傷害することをいう。
- (4) 心房細動には、人工ペースメーカー植込を行う。
- (5) 放射線治療では、食欲が増進する。

34 ホスピスにおける緩和医療に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 薬物の投与は行わない。
- (2) エネルギー量は、30 kcal/kg 標準体重/日以上を確保する。
- (3) 誤嚥のリスクがあれば、経口摂取を禁忌とする。
- (4) 延命目的の抗がん剤の投与は、行わない。
- (5) 低栄養患者には、中心静脈栄養(TPN)を行う。

35 高尿酸血症・痛風に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 女性に多い。
- (2) ピリミジン塩基を含む食品の過剰摂取によって起こる。
- (3) アルコールは、尿酸の尿中排泄を促進する。
- (4) 高尿酸血症は、血清尿酸値が 5.0 mg/dL を超えるものをいう。
- (5) 腎障害を合併する。

36 先天性代謝異常症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 糖原病Ⅰ型では、グルコースが過剰に産生される。
- (2) フェニルケトン尿症では、精神発達障害がみられる。
- (3) メープルシロップ尿症は、芳香族アミノ酸の代謝異常症である。
- (4) ガラクトース血症は、原発性高脂血症である。
- (5) ウィルソン病は、亜鉛の代謝障害である。

37 炎症性腸疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) クロウン病は、50 歳代に好発する。
- (2) クロウン病は、S 状結腸に好発する。
- (3) クロウン病の活動期では、食物繊維の摂取を勧める。
- (4) 潰瘍性大腸炎の患者数は、クロウン病より少ない。
- (5) 潰瘍性大腸炎は、大腸がんのリスク因子である。

38 循環器系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 心拍出量は、成人で安静時に約 5 L/分である。
- (2) 肺動脈を流れる血液は、動脈血である。
- (3) 左心室の壁厚は、右心室の壁厚よりも薄い。
- (4) 副交感神経の興奮により、心拍数は増加する。
- (5) 血圧が上昇すると、レニンの分泌が増加する。

39 腎・尿路系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血液中の赤血球は、糸球体でろ過される。
- (2) 心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)は、ナトリウムの排泄を促進する。
- (3) 尿細管で再吸収される原尿は、糸球体でろ過された量の約 1% である。
- (4) エリスロポエチンは、カルシウムの再吸収を促進する。
- (5) レニンは、尿管から分泌される。

40 内分泌器官と分泌ホルモンの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 下垂体前葉 —— バソプレシン
- (2) 下垂体後葉 —— 成長ホルモン(GH)
- (3) 甲状腺 —— チロキシン
- (4) 副腎皮質 —— アドレナリン
- (5) 副腎髄質 —— コルチゾール

41 自己免疫異常によって起こる内分泌疾患である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) バセドウ病
- (2) 原発性アルドステロン症
- (3) 褐色細胞腫
- (4) クッシング症候群
- (5) 先端巨大症

42 神経疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) くも膜下出血は、脳実質内の出血である。
- (2) ラクナ梗塞(穿通枝梗塞)は、太い血管に生じる脳梗塞である。
- (3) アテローム血栓性脳梗塞は、細動脈の変性によって生じる。
- (4) ウェルニッケ脳症は、ビタミン B₁₂ 欠乏でみられる。
- (5) パーキンソン病では、脳内のドーパミンが欠乏している。

43 呼吸器系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 横隔膜は、呼気時に収縮する。
- (2) 気管支平滑筋は、副交感神経の興奮で弛緩する。
- (3) 血中二酸化炭素分圧の上昇は、ヘモグロビンの酸素結合能力を増加させる。
- (4) 二酸化炭素は、血液中で重炭酸イオン(HCO₃⁻)になる。
- (5) 1秒量とは、最大呼気位から最初の1秒間に吸入できる量である。

44 慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 喫煙は、リスク因子である。
- (2) 食欲は、増進する。
- (3) 呼吸機能検査では、拘束性障害のパターンを示す。
- (4) 動脈血中の酸素分圧は、上昇する。
- (5) 安静時エネルギー消費量(REE)は、減少する。

45 運動器疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨粗鬆症は、若年男性に好発する。
- (2) クッシング症候群は、骨粗鬆症の原因となる。
- (3) やせは、変形性関節症のリスク因子である。
- (4) ビタミン A 欠乏は、骨軟化症の原因となる。
- (5) ビタミン K 欠乏は、くる病の原因となる。

46 性周期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 排卵後、卵胞は白体から黄体へと変化する。
- (2) プロゲステロンは、子宮内膜を増殖・肥厚させる。
- (3) プロラクチンは、排卵を誘発する。
- (4) 卵胞期に、エストロゲンの分泌が高まる。
- (5) 黄体期に、基礎体温は低下する。

47 貧血に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 悪性貧血は、悪性腫瘍に合併する貧血をさす。
- (2) 胃全摘直後に、巨赤芽球性貧血を発症する。
- (3) 鉄欠乏性貧血では、ヘモグロビンの合成が亢進する。
- (4) 鉄欠乏性貧血では、血清フェリチン値が上昇する。
- (5) 腎性貧血は、エリスロポエチンの産生低下による。

48 免疫に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) B リンパ球は、胸腺で成熟する。
- (2) 抗体は、抗原の特定部位を認識する。
- (3) T リンパ球は、抗体を産生する。
- (4) 赤血球は、抗原提示を行う。
- (5) IgM は、分泌型の免疫グロブリンである。

49 アレルギーに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) I 型アレルギー反応には、ヒスタミンが関与する。
- (2) II 型アレルギー反応は、細胞性免疫による。
- (3) 自己免疫性溶血性貧血は、III 型アレルギー反応である。
- (4) IV 型アレルギー反応は、免疫複合体の組織沈着により生じる。
- (5) 花粉症は、IV 型アレルギー反応である。

50 感染症とその病原体の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 急性糸球体腎炎 ————— 細菌
- (2) 麻疹 ————— リケッチア
- (3) ニューモシスチス肺炎 ——— ウイルス
- (4) 手足口病 ————— マイコプラズマ
- (5) 発疹チフス ————— クラミジア

51 食料と環境問題に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 生物濃縮は、環境よりも高い濃度で生体内に外界の物質を蓄積する現象をいう。
- (2) フードマイレージは、食料の輸入量を輸送距離で除した値である。
- (3) 地産地消の輸送コストは、輸入の輸送コストに比べて一般的に増大する。
- (4) 食品ロスの増大は、環境に対する負荷を増大させる。
- (5) 食物連鎖における高次消費者の個体数は、一次消費者の個体数に比べて多い。

52 果実類に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) りんごは、漿果類に分類される。
- (2) うめ未熟果実の核には、アミグダリンが含まれる。
- (3) ももには、石細胞が含まれる。
- (4) かきには、でんぷんが多く含まれる。
- (5) いちごの赤色は、カロテノイド色素である。

53 牛乳に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 含有する炭水化物は、マルトースである。
- (2) 人乳よりも、カゼイン含量が少ない。
- (3) LL牛乳は、低温殺菌法で製造される。
- (4) 酸の添加によって、カゼインが凝固する。
- (5) 乳清たんぱく質の約半分は、ラクトフェリンである。

54 日本食品標準成分表 2010 に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) こんにゃくのエネルギー値は、Atwater の係数を適用して求めた値に 0.1 を乗じて算出されている。
- (2) たんぱく質量の算出では、全窒素量からグルタミン酸由来の窒素量を差し引いている。
- (3) レチノール当量は、 β -カロテン当量に係数 1/12 を乗じたものとレチノール量を合計して算出されている。
- (4) ビタミン C の成分値は、マイクログラム (μg) で表示されている。
- (5) 「Tr」は、食品成分表の最小記載量の 1/20 未満であることを示している。

55 でんぷんの老化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アミロペクチンは、アミロースに比べて老化が起こりやすい。
- (2) モノアシルグリセロールが共存すると、老化が起こりやすい。
- (3) 最も老化が起こりやすい水分含量は、10～20% の範囲である。
- (4) 高温下で糊化でんぷんを急速に乾燥すると、老化が起こりにくい。
- (5) 2℃～5℃ の範囲では、老化が起こりにくい。

56 特定保健用食品の関与成分と生体調節の目的との組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ラクトトリペプチド ————— 整腸
- (2) ゲニポシド酸 ————— 血糖調節
- (3) 茶重合ポリフェノール ——— 脂肪吸収
- (4) γ -アミノ酪酸 (GABA) ——— カルシウム吸収
- (5) キシロオリゴ糖 ————— 血圧調節

57 食品衛生法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 国民の健康の増進を図るための措置を講じ、もって国民保健の向上を図ることを目的としている。
- (2) 食品とは、医薬品・医薬部外品を含むすべての飲食物をいう。
- (3) 新開発食品の販売を禁止することができるのは、農林水産大臣である。
- (4) 食品または添加物の規格・基準を定めることができるのは、厚生労働大臣である。
- (5) 輸入された食品について、登録検査機関の行う検査を命じることができるのは、都道府県知事である。

58 食品の褐変に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 酵素的褐変に、酸素は関与しない。
- (2) ブランチングにより、酵素的褐変を抑えることができる。
- (3) カラメル色素は、糖とアミノ酸との反応で生成する。
- (4) アミノ・カルボニル反応の速度は、温度に無関係である。
- (5) ストレッカー分解では、腐敗臭を生じる。

59 食品の変質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 油脂の劣化は、窒素により促進される。
- (2) 油脂の劣化は、光線により促進される。
- (3) 細菌による腐敗は、水分活性の上昇により抑制される。
- (4) 酸価は、初期腐敗の指標である。
- (5) ヒスタミンは、ヒスチジンの脱アミノ反応により生じる。

60 細菌性食中毒の原因菌と主な発生源となる食品の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腸炎ビブリオ ————— 野菜
- (2) カンピロバクター ———— きのこと類
- (3) サルモネラ ————— 鶏卵
- (4) ブドウ球菌 ————— 二枚貝
- (5) ウェルシュ菌 ————— はちみつ

61 フグ毒に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ペロ毒素である。
- (2) 加熱により無毒化される。
- (3) 中毒症状は、激しい下痢である。
- (4) 毒性は、ハウユニット(HU)で表される。
- (5) 卵巣や肝臓に蓄積している。

62 放射性物質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) セシウム 137 の集積部位は、甲状腺である。
- (2) ストロンチウム 90 の沈着部位は、骨である。
- (3) ヨウ素 131 の集積部位は、筋肉である。
- (4) 放射線の透過能力は、 α 線が最も強い。
- (5) 生物学的半減期は、元素によらず一定である。

63 食品添加物の1日摂取許容量(ADI)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 1年間摂取し続けても影響を受けない量のことである。
- (2) ヒト試験によって求められる。
- (3) 単位は、mg/kg 体重/年で示される。
- (4) 最大無毒性量を安全係数で除して算出される。
- (5) 種差と個人差を考慮した安全係数には、10 が使われる。

64 食品の期限表示に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 消費期限は、品質が急速に劣化しやすい食品に表示される。
- (2) 消費期限は、年月表示でもよい。
- (3) 賞味期限は、包装容器を開封した後にも適用される。
- (4) 期限表示した場合には、保存方法の表示は省略できる。
- (5) 砂糖や食塩にも期限表示が必要である。

65 食品のアレルギ―表示に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特定原材料として、5品目が定められている。
- (2) そばを原材料とする食品には、表示が推奨されている。
- (3) 大豆を原材料とする食品には、表示が義務付けられている。
- (4) うずら卵を原材料とする食品には、表示をしなくてよい。
- (5) 「小麦粉」は、小麦の代替表記として認められている。

66 「いわゆる健康食品」について、食品衛生法並びに薬事法に準拠した表示である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「1日3回、毎食後に3粒をお召し上がり下さい」
- (2) 「高血圧の気になる方へ」
- (3) 「血糖値の気になる方に適する食品」
- (4) 「スポーツをする方へのミネラル補給に」
- (5) 「疲労回復、体力増強のために」

67 栄養機能食品に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 消費者庁の許可マークがある。
- (2) 国への届出が必要である。
- (3) 栄養機能表示できないビタミンがある。
- (4) 特別用途食品の一つとして分類されている。
- (5) 疾病のリスク低減表示ができる。

68 油脂の製造法に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) ごま油は、融出法による。
- (2) 大豆油は、抽出法による。
- (3) ラードは、圧搾法による。
- (4) 硬化油は、酸素を添加する。
- (5) サラダ油は、脱蠟(ろう)処理をする。

69 加工食品と利用する微生物の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食酢 ————— 乳酸菌
- (2) ビール ————— 酪酸菌
- (3) みりん ————— こうじかび
- (4) ヨーグルト ——— 酢酸菌
- (5) 糸引き納豆 ——— 酵母

70 食品の保存に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) チルドでは、食品の温度を0℃付近に保つ。
- (2) CA(Controlled Atmosphere)貯蔵では、庫内の二酸化炭素濃度を上昇させる。
- (3) 乾燥では、食品の水分活性は低下する。
- (4) 冷燻(くん)では、食品の水分活性は上昇する。
- (5) 塩蔵では、食品の浸透圧は上昇する。

71 食品の冷凍に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最大氷結晶生成帯は、-15℃～-10℃である。
- (2) 保存により、食品は吸湿する。
- (3) 微生物の増殖は、促進される。
- (4) 酵素の活性は、上昇する。
- (5) 解凍後のドリップ量は、急速凍結により減少する。

72 湿式加熱に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 炊飯操作では、仕上り時に液体が食品に吸収されている。
- (2) ゆで加熱では、蒸し加熱に比べて成分溶出は少ない。
- (3) 圧力鍋による水の沸点の上昇は、放熱量を減らすことによる。
- (4) 水蒸気が凝縮する際の熱を顕熱という。
- (5) 煮る操作では、塩を砂糖よりも先に入れる。

73 調理における熱の伝わり方に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 炒め加熱における鍋から食材への伝熱は、対流伝熱である。
- (2) 揚げ加熱における油から食材への伝熱は、伝導伝熱である。
- (3) ゆで加熱における食材表面から内部への伝熱は、伝導伝熱である。
- (4) オーブン加熱における空気から食材への伝熱は、放射伝熱である。
- (5) 電子レンジ加熱では、マイクロ波から食材へ伝熱する。

74 海藻類の調理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 含まれる多糖類は、ゆでると甘味をもたらす。
- (2) 生のわかめを湯通しすると、色調が緑色に変化する。
- (3) こんぶ表面の粉は、旨味に関わる。
- (4) てんぐさの凝固性成分は、常温で固体である。
- (5) わかめは、灰干しにより色が鮮やかになる。

75 献立作成に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品構成を目安として作成する。
- (2) 朝食、昼食、夕食の配分比率は、1:1:3を目安とする。
- (3) 主菜は、主食に合わせて選択する。
- (4) 主菜、副菜の順に決める。
- (5) デザートで不足の栄養素を補足する。

76 栄養学の歴史に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ルブネル(Rubner M)は、特異動的作用(食事誘発性熱産生)を発見した。
- (2) クレブス(Krebs HA)は、呼吸が燃焼と同じ現象であることを明らかにした。
- (3) ラボアジェ(Lavoisier AL)は、米ぬかの抗脚気因子をビタミンと命名した。
- (4) フンク(Funk C)は、不可欠アミノ酸(必須アミノ酸)の概念を確立した。
- (5) ローズ(Rose WC)は、クエン酸が酸化されてオキサロ酢酸になる回路を発見した。

77 摂食の調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食欲は、不快感を伴う感覚である。
- (2) 食欲は、血中グルコース濃度の上昇により促進される。
- (3) 摂食行動は、ホルモン分泌の影響を受ける。
- (4) 摂食行動は、小脳において調節されている。
- (5) 摂食行動は、迷走神経刺激の影響を受けない。

78 消化管ホルモンの分泌と働きに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ガストリンは、十二指腸から分泌される。
- (2) ガストリンの分泌は、食塊が胃に入ると抑制される。
- (3) コレシストキニン^{*}は、膵液中への消化酵素の分泌を促進する。
- (4) セクレチンは、膵液中への重炭酸イオン(HCO₃⁻)の分泌を抑制する。
- (5) セクレチンの分泌は、胃内容物が十二指腸に入ると抑制される。

79 消化と吸収に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) フルクトースの吸収上皮細胞への取り込みには、 Na^+ が必要である。
- (2) ジペプチドの吸収上皮細胞への取り込みには、 H^+ が必要である。
- (3) 葉酸の吸収には、胃液分泌が必要である。
- (4) 鉄の吸収率は、体内の鉄量にかかわらず一定である。
- (5) トリアシルグリセロールの胃内滞留時間は、糖質より短い。

80 たんぱく質とアミノ酸の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事たんぱく質由来の遊離アミノ酸は、体内のアミノ酸プールに入る。
- (2) 体たんぱく質の分解で生じた遊離アミノ酸は、体たんぱく質合成に再利用されない。
- (3) 体たんぱく質の合成は、インスリンによって抑制される。
- (4) 骨格筋たんぱく質の平均半減期は、消化管たんぱく質の平均半減期より短い。
- (5) 分枝アミノ酸は、肝臓に優先的に取り込まれて代謝される。

81 たんぱく質の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品たんぱく質の化学的評価法は、窒素出納法を利用している。
- (2) 生物価は、吸収窒素量を摂取窒素量で除して求める。
- (3) 不可欠アミノ酸(必須アミノ酸)の必要量は、アミノ酸の種類によって異なる。
- (4) 糖質や脂質からのエネルギー摂取が不足すると、窒素出納は正になる。
- (5) グルココルチコイドは、体たんぱく質の合成を促進する。

82 糖質の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 空腹時には、グルコースからの脂肪酸合成が促進される。
- (2) 空腹時には、アミノ酸からのグルコース合成が抑制される。
- (3) 糖質摂取量の増加は、ビタミン B_1 必要量を減少させる。
- (4) 筋肉グリコーゲンは、脳のエネルギー源として利用される。
- (5) 急激な運動時には、グルコースから乳酸が生成される。

83 食後の脂質代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー源としての脂肪酸の利用が高まる。
- (2) 脂肪組織から放出される脂肪酸量は増加する。
- (3) リポたんぱく質リパーゼの活性が低下する。
- (4) 血中のカイロミクロン(キロミクロン)が増加する。
- (5) 肝臓からの VLDL の分泌が減少する。

84 コレステロールと胆汁酸の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) コレステロール合成は、細胞内にコレステロールが蓄積すると促進される。
- (2) 肝臓のコレステロールは、LDL に取り込まれて血中に分泌される。
- (3) コレステロールから胆汁酸への代謝は、胆嚢で行われる。
- (4) 分泌された胆汁酸は、十二指腸で吸収される。
- (5) 分泌された胆汁酸は、腸内細菌によって二次胆汁酸へ代謝される。

85 ビタミンに関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) ビタミン A は、血液凝固因子の活性化に必要である。
- (2) ビタミン E は、腸内細菌によって合成される。
- (3) ビタミン B_1 は、アセチル CoA の構成成分である。
- (4) ナイアシンの必要量は、たんぱく質摂取量の影響を受ける。
- (5) ビタミン C は、コラーゲンの生成に必要である。

86 カルシウムの吸収と代謝に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) カルシウムは、能動輸送によって吸収される。
- (2) カルシウムの吸収は、活性型ビタミンDで促進される。
- (3) カルシウムの吸収率は、年齢による影響を受ける。
- (4) カルシウムの吸収は、シュウ酸により阻害される。
- (5) 血中カルシウム濃度は、カルシトニンによって上昇する。

87 鉄の代謝と栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 消化管における鉄の吸収率は、約80%である。
- (2) 体内機能鉄は、骨格筋に最も多く存在する。
- (3) 体内総鉄量に占める貯蔵鉄の割合は、機能鉄より大きい。
- (4) 赤血球の破壊で遊離した鉄は、ヘモグロビン合成に再利用される。
- (5) 鉄は、セルロプラスミンの構成成分である。

88 水と電解質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 成人男性における体重の約60%は、細胞外液である。
- (2) 発汗によって、体温が上昇する。
- (3) 代謝水は、水分出納における供給源となる。
- (4) 低張性脱水では、電解質を含まない水を補給する。
- (5) 体水分量が不足すると、バソプレシン分泌が抑制される。

89 エネルギー代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質の単位重量当たりの物理的燃焼値と生理的燃焼値は等しい。
- (2) メッツ(MET)は、身体活動におけるエネルギー消費量を安静時代謝量で除したものである。
- (3) 身体活動レベル(PAL)は、1日のエネルギー消費量を安静時代謝量で除したものである。
- (4) 摂取エネルギー当たりの食事誘発性熱産生は、たんぱく質より脂質が大きい。
- (5) 非たんぱく質呼吸商は、脂質の燃焼割合が増加すると大きくなる。

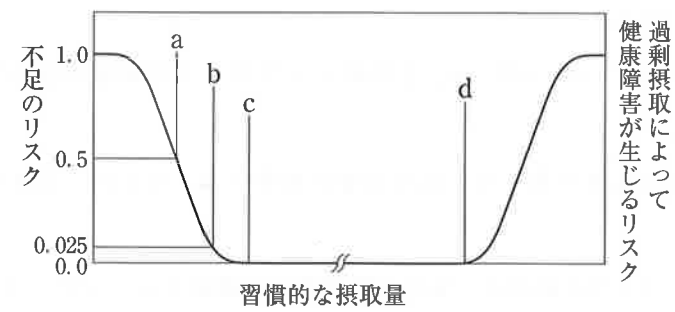
90 栄養ケア・マネジメントに関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 栄養アセスメントの項目には、問診・観察が含まれる。
- (2) 栄養ケア計画は、管理栄養士と他職種が連携し作成する。
- (3) 短期目標は、計画全体の到達目標である。
- (4) モニタリングは、最終的な評価である。
- (5) 評価には、経済評価を含まない。

91 鉄欠乏性貧血において上昇する検査値である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ヘマトクリット(Ht)
- (2) 平均赤血球容積(MCV)
- (3) ヘモグロビン(Hb)
- (4) 総鉄結合能(TIBC)
- (5) 血清鉄

92 日本人の食事摂取基準(2010年版)の各指標の概念図である。正しい組合せはどれか。1つ選べ。



- | | a | b | c | d |
|-----|---------------|---------------|---------------|------------|
| (1) | 推奨量 (RDA) | 推定平均必要量 (EAR) | 目安量 (AI) | 耐容上限量 (UL) |
| (2) | 推定平均必要量 (EAR) | 推奨量 (RDA) | 目安量 (AI) | 耐容上限量 (UL) |
| (3) | 推定平均必要量 (EAR) | 推奨量 (RDA) | 耐容上限量 (UL) | 目安量 (AI) |
| (4) | 推定平均必要量 (EAR) | 耐容上限量 (UL) | 推奨量 (RDA) | 目安量 (AI) |
| (5) | 目安量 (AI) | 推奨量 (RDA) | 推定平均必要量 (EAR) | 耐容上限量 (UL) |

93 日本人の食事摂取基準(2010年版)において、推定平均必要量(EAR)が、たんぱく質摂取量当たりで算定されたビタミンである。正しいのはどれか。1つ選べ。

(1) ビタミン B₁

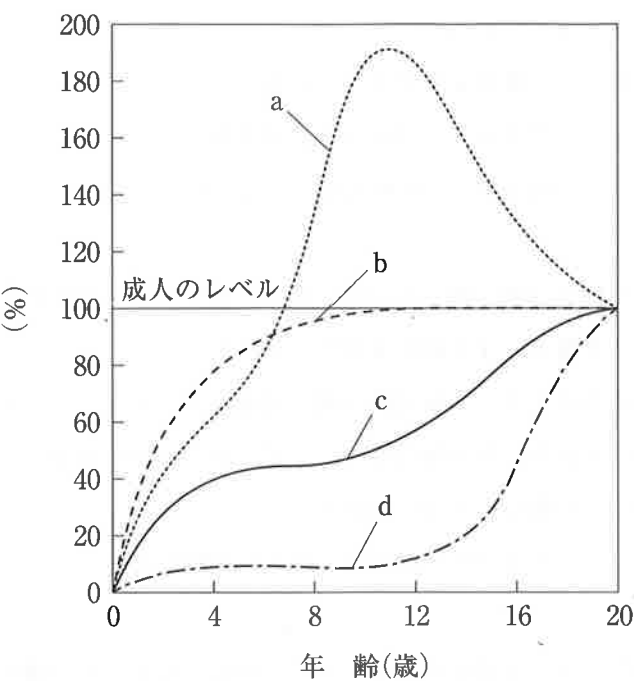
(2) ビタミン B₆

(3) ビタミン B₁₂

(4) 葉酸

(5) ビタミン C

94 スキャモンの発育曲線における4つの成長型の図である。正しい組合せはどれか。1つ選べ。



- | | a | b | c | d |
|-----|------|------|-----|-----|
| (1) | 神経型 | リンパ型 | 一般型 | 生殖型 |
| (2) | リンパ型 | 神経型 | 生殖型 | 一般型 |
| (3) | 一般型 | リンパ型 | 生殖型 | 神経型 |
| (4) | リンパ型 | 神経型 | 一般型 | 生殖型 |
| (5) | リンパ型 | 一般型 | 生殖型 | 神経型 |

95 日本人の食事摂取基準(2010年版)における妊婦の付加量に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 妊娠中の最終体重増加量を6 kgとしている。
- (2) 泌乳量を考慮している。
- (3) 胎児発育に伴う蓄積量を考慮している。
- (4) エネルギーの付加量は、妊娠中期に最も多い。
- (5) カルシウムの付加量は、妊娠末期に設定されている。

96 乳幼児期の生理的特徴に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 乳歯は、生後3～4か月頃より生え始める。
- (2) 運動機能の発達は、微細運動が粗大運動に先行する。
- (3) 身長は1年間当たりの増加量は、年齢に伴い大きくなる。
- (4) 大泉門は、生後6か月頃に閉鎖する。
- (5) 体重当たりの体水分量の割合は、成人に比較して多い。

97 離乳の進め方に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 哺乳反射による動きが活発になってきたら、離乳食を開始する。
- (2) 離乳を開始して1か月を過ぎた頃から、離乳食は1日2回にしていく。
- (3) 舌と上あごでの押しつぶしが可能になってきたら、歯ぐきでつぶせる固さのものを与える。
- (4) 離乳の完了とは、乳汁を飲んでいない状態をさす。
- (5) 咀嚼機能は、離乳の完了より前に完成される。

98 思春期の女子に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 思春期前に比べ、エストロゲンの分泌量は低下する。
- (2) 思春期前に比べ、卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌量は増加する。
- (3) 思春期前に比べ、体脂肪率は低下する。
- (4) カルシウム蓄積速度は、思春期後半に最大となる。
- (5) 思春期発育急進現象(思春期スパート)の開始時期は、男子より遅い。

99 日本人の食事摂取基準(2010年版)において、小児の目標量(DG)が策定されている項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪エネルギー比率
- (2) 飽和脂肪酸
- (3) コレステロール
- (4) 食物繊維
- (5) カリウム

100 成人男性のメタボリックシンドロームの診断に使われる基準である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) ウエスト周囲長 ≥ 85 cm
- (2) 収縮期血圧 ≥ 140 mmHg
- (3) 空腹時血糖値 ≥ 126 mg/dL
- (4) 空腹時血清トリグリセリド値 ≥ 150 mg/dL
- (5) 血清HDL-コレステロール値 < 35 mg/dL

101 成人期に比較して高齢期に起こる身体的・生理的機能の変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 唾液分泌量は、増加する。
- (2) 消化管筋層は、薄くなる。
- (3) 食道の蠕動運動は、増大する。
- (4) 血中副甲状腺ホルモン(PTH)は、低下する。
- (5) 血中コルチゾールは、上昇する。

102 老年症候群に含まれる症候である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 誤嚥
- (2) うつ
- (3) 転倒
- (4) 黄疸
- (5) 褥瘡

103 習慣的な有酸素運動の効果である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最大酸素摂取量の低下
- (2) 血清 HDL-コレステロール値の低下
- (3) 血清トリグリセリド値の上昇
- (4) 収縮期血圧(安静時)の上昇
- (5) インスリン感受性の増大

104 特殊環境と身体への影響の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高温環境 ——— 熱産生の増加
- (2) 低温環境 ——— 熱けいれん
- (3) 高圧環境 ——— 酸素中毒
- (4) 低圧環境 ——— 肺換気量の低下
- (5) 無重力環境 ——— 骨量の増加

105 ストレスの汎(全身)適応症候群に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 警告反応期のショック相では、血糖値が上昇する。
- (2) 警告反応期のショック相では、血圧が低下する。
- (3) 警告反応期の反ショック相では、体温が低下する。
- (4) 抵抗期では、新たなストレスが加わると抵抗力は強くなる。
- (5) 疲はい期では、ストレスに対して生体が適応力を獲得している。

28

午後の部

試験問題	試験時間
106～200	13時55分～16時20分

● 指示があるまで開かないこと。

＜注意事項＞

1. 問題の数

試験問題は106～200まで95問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午後

受験地	東京都	受験番号	0	0	0	2	7
氏名	栄養花子						

受験地	北海道	茨城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県			
	○	○	●	○	○	○	○	○			
受験番号	万	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	拾	①	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
壹	①	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号 201 の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……       

(解答にならない。)

- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。

- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

106 三次予防を目的とした栄養教育の対象と機会である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健常中高年者への、がん予防を目的とした集団健康教育
- (2) 内臓脂肪型肥満者への、体重コントロールを目的とした特定保健指導
- (3) 境界型糖尿病患者への、血糖コントロールを目的とした教育入院中の指導
- (4) 糖尿病腎症患者への、透析移行防止を目的とした栄養指導
- (5) 後期高齢者への、生活機能低下の早期対応を目的とした介護予防教育

107 野菜摂取量を増やす栄養教育において、行動変容段階上の無関心期(前熟考期)から関心期(熟考期)へ変容する過程である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜料理をお弁当に入れてもらうよう、家族に頼んだ。
- (2) 野菜を多く食べるようになって、便秘が改善したことに気づいた。
- (3) 野菜の量が少ないままだと健康を害すると、危機感を持った。
- (4) 野菜は摂りにくいと思っていたが、簡単に摂取できることがわかった。
- (5) 野菜を常に冷蔵庫に入れておくようにした。

108 特定保健指導の初回面接において、「健診結果をご覧になってどう思われましたか」と質問した時の回答である。目標宣言の準備性が整った回答として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) いや、別に。自覚症状もないですからね。
- (2) 検査値の見方がよくわからなかったんですよ。
- (3) 生活を改めようと思ったのですが、習慣を変えるのはストレスですね。
- (4) 結果を見て、歩こうと思いましたが、どれ位歩けばいいですか。
- (5) 前より良くなっているのは、生活を変えたからでしょうね。

109 朝食欠食者の行動変容に関して、自己効力感を把握するための質問である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 朝食を食べることは、健康に役立つと思いますか。
- (2) 自分の朝食に関する問題点がわかりますか。
- (3) 朝食内容の記録は、できるようになりましたか。
- (4) 朝食を食べるという目標は、実行できそうですか。
- (5) 朝食を食べることに對し、家族は協力的ですか。

110 体重が減らず、減量をあきらめようとしているクライアントへの対応である。共感的態度として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「あきらめないで、もっとがんばりましょう」と、はげます。
- (2) 「なぜ、無理だと思うのですか」と、理由をたずねる。
- (3) 「ごはんの量がまだ多いですね」と、改善点をアドバイスする。
- (4) 「みんなもそうなので、落ち込まないでください」と、なぐさめる。
- (5) 「がんばっても減らないと、がっかりしますよね」と、言葉を返す。

111 栄養教育を受けたことが、地域(コミュニティ)のエンパワメントへと展開した事例である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食教育を受けた大学生が、地域の安全・安心な食材を選び、自分で料理を作るようになった。
- (2) 病院で減塩教育を受けた患者が、減塩食レシピを地域の料理コンテストに応募した。
- (3) 保健指導を受けた者が、健康に配慮した地域の飲食店を選ぶようになった。
- (4) 地域での糖尿病教室の受講者が、食生活を見直し、手作り弁当を持参するようになった。
- (5) 食育講演会の参加者が、地域で自主グループをつくり、食育活動を進めた。

112 ソーシャルキャピタルの向上を目的とした地域の実践に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域ぐるみの子育てを目指し、子育てサークルを立ち上げた。
- (2) スポーツをする中学生を対象に、個別相談を実施した。
- (3) 勤労者が利用しやすいよう、スポーツ施設を終夜営業とした。
- (4) 健康祭りで、野菜の購入に使えるクーポン券を配布した。
- (5) 地域の食品製造業者を対象に、栄養成分表示のアドバイスをした。

113 職場における食環境づくりに関する記述である。情報へのアクセスの整備として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品の安全性に関する情報をもとに、食堂で使用する食材を選ぶ。
- (2) おいしい・ヘルシー・安いを特徴とした弁当を、食堂で販売する。
- (3) ヘルシーランチ喫食者には、ポイントが貯まるサービスをする。
- (4) 喫食者全員に、食と健康に関するリーフレットを配布する。
- (5) 調理師に、ヘルシーメニューの基準に関する情報を伝える。

114 飲酒に関する行動分析を行うための質問である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 好きなお酒は、どのような種類ですか。
- (2) お酒があると、つい飲んでしまいますか。
- (3) お風呂上がりに、飲む習慣がありますか。
- (4) イライラしているときに、飲み過ぎますか。
- (5) 人から勧められると、つい飲んでしまいますか。

115 職域におけるメタボリックシンドローム予防を目的とした栄養教育の環境目標の例である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 社員食堂を利用する者の割合を、現状の70%から90%にする。
- (2) 1日に必要なエネルギー摂取量の目安がわかる者の割合を、現状の60%から80%にする。
- (3) 社員食堂で提供するヘルシーメニューの割合を、現状の0%から20%にする。
- (4) BMI 25.0 kg/m²以上の者の割合を、現状の40%から30%にする。
- (5) 主食・主菜・副菜のそろった食事をしている者の割合を、現状の50%から80%にする。

116 食事バランスガイドに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) コマの上から順に、主食、主菜、副菜を示している。
- (2) コマの軸は、水・お茶を示している。
- (3) コマのヒモは、油脂・調味料を示している。
- (4) 主食の量的基準は、主材料の重量で示されている。
- (5) 菓子・嗜好飲料の摂り方は、砂糖の重量で示されている。

117 グループダイナミクスの効果が期待される学習形態である。正しいのはどれか。

2つ選べ。

- (1) ワークショップ
- (2) レクチャー
- (3) シンポジウム
- (4) ブレインストーミング
- (5) ロールプレイ

118 栄養教育プログラムにおける評価の種類とその評価内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 企画評価 —— 対象の問題行動の要因を把握したか
- (2) 経過評価 —— 評価指標が設定されているか
- (3) 影響評価 —— 周囲に良い影響を与えたか
- (4) 結果評価 —— 計画通りに実施されたか
- (5) 経済評価 —— 社会・経済の影響を受けたか

119 「食育ガイド」(内閣府)に示されている内容である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 災害への備えとして、1日分の食品・飲料水を家に用意する。
- (2) 食事の内容や量は、食事バランスガイドを目安に確認する。
- (3) よく噛んで食べることは、肥満の予防につながる。
- (4) 朝ごはんを食べることは、規則正しい生活リズムにつながる。
- (5) 消費・賞味期限は、食品表示で確認する。

120 介護予防事業における二次予防事業対象者を決定するための基本チェックリストの項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 日用品の買物をしていますか。
- (2) 15分位続けて歩いていますか。
- (3) 20歳の時の体重から、10kg以上増加していますか。
- (4) 口の渇きが気になりますか。
- (5) 週に1回以上は外出していますか。

121 診療報酬の算定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 1点は、100円に換算する。
- (2) 特別食加算は、1食単位で算定できる。
- (3) 集団栄養食事指導料の指導時間は、30分以上である。
- (4) 個人栄養食事指導料は、入院中3回まで算定できる。
- (5) 栄養サポートチーム加算は、週2回算定できる。

122 身体徴候と栄養アセスメント結果の組合せである。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 眼球陥凹 —— 脱水
- (2) 眼瞼黄色腫 —— ビタミンA過剰
- (3) 満月様顔貌 —— 必須脂肪酸欠乏
- (4) ハンター舌炎 —— ビタミンB₁₂欠乏
- (5) 匙状爪(スプーンネイル) —— 亜鉛欠乏

123 貧血の鑑別診断に用いる評価指標である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 不飽和鉄結合能(UIBC)
- (2) 平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)
- (3) ハプトグロビン
- (4) トランスフェリン
- (5) フィブリノーゲン

124 傷病者のエネルギー必要量に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ハリスーベネディクト(Harris-Benedict)の式では、身長は用いない。
- (2) 間接熱量測定値は、ストレスによる影響を含む。
- (3) ベッド上安静時には、身体活動レベル(PAL)として1.7を用いる。
- (4) 広範囲熱傷では、エネルギー代謝が低下する。
- (5) リフィーディング(refeeding)症候群予防には、高エネルギー食とする。

125 水分必要量の算定に用いる水分の項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 嘔吐量
- (2) ドレーンからの排液量
- (3) 不感蒸泄量
- (4) 便量
- (5) 胃液分泌量

126 経腸栄養法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) カテーテルの先端は、回腸に留置する。
- (2) 胃食道逆流予防には、仰臥位とする。
- (3) 胃瘻による管理は、1週間以内とする。
- (4) 持続投与における投与量は、1時間当たり 300 mL とする。
- (5) 成分栄養剤の長期投与では、必須脂肪酸欠乏に注意する。

127 25% ブドウ糖基本輸液 1,400 mL、総合アミノ酸製剤 600 mL、脂肪乳剤 200 mL を投与した。この時の非たんぱく質熱量/窒素比(kcal/g)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

ただし、エネルギー量は、ブドウ糖及びアミノ酸を 4 kcal/g、脂肪乳剤を 200 kcal/100 mL、総合アミノ酸製剤の窒素量を 3 g/200 mL とする。

- (1) 100
- (2) 150
- (3) 200
- (4) 250
- (5) 300

128 要介護者への栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グループホームでは、静脈栄養が優先される。
- (2) 通所(デイサービス)施設では、食事提供はできない。
- (3) 介護老人保健施設では、バイキング形式の食事提供はできない。
- (4) 介護老人福祉施設では、偏食の矯正を目標とする。
- (5) 管理栄養士が行う居宅療養管理指導には、医師の指示が必要である。

129 医薬品とその作用の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) スルホニル尿素(SU)薬 ————— 骨吸収抑制
- (2) DPP-4 阻害薬 ————— 血糖降下
- (3) HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン) ——— 血压降下
- (4) カルシウム拮抗薬 ————— コレステロール合成抑制
- (5) アロプリノール ————— 赤血球合成

130 SOAP と記録の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) S ——— 推定脂質摂取量 80 g/日
- (2) O ——— 昼食摂取方法の指導
- (3) O ——— 上腕筋囲 23 cm
- (4) A ——— 昨日から腹が痛い
- (5) P ——— 血清 CRP(C 反応性たんぱく質)値 2.0 mg/dL

131 マラスムス(marasmus)における特徴の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	体重減少	肝腫大	血清アルブミン値低下
(1)	有	無	有
(2)	有	有	無
(3)	有	無	無
(4)	無	有	有
(5)	無	有	無

132 糖尿病の合併症に対する治療の記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) インスリン治療による低血糖では、果糖を投与する。
- (2) 糖尿病神経障害では、脂肪エネルギー比率を40%とする。
- (3) 糖尿病ケトアシドーシスでは、水分投与を制限する。
- (4) 高血圧合併時では、食塩を6g/日未満とする。
- (5) 脂肪肝合併時では、たんぱく質を制限する。

133 脂質異常症の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高トリグリセリド血症では、n-3系多価不飽和脂肪酸を制限する。
- (2) 高トリグリセリド血症では、水溶性食物繊維を制限する。
- (3) 高カイロミクロン(キロミクロン)血症では、脂肪エネルギー比率を15%以下にする。
- (4) 高LDL-コレステロール血症では、コレステロール摂取を750mg/日以下にする。
- (5) 低HDL-コレステロール血症では、トランス脂肪酸摂取を多くする。

134 40歳、男性。身長175cm、体重80kg、BMI26.1kg/m²、血圧142/92mmHg。血清尿酸値は8.5mg/dLであった。この患者の食事療法に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 減量を勧める。
- (2) 野菜摂取を勧める。
- (3) アルコール摂取を制限する。
- (4) プリン体摂取を制限する。
- (5) 水分摂取を制限する。

135 非代償期肝硬変でみられる症候・合併症と栄養管理に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 浮腫 ————— 脂肪制限
- (2) 黄疸 ————— 鉄制限
- (3) 低血糖 ————— 難消化性オリゴ糖の投与
- (4) 肝性脳症 ————— たんぱく質制限
- (5) 食道静脈瘤 ————— 分枝アミノ酸の制限

136 45歳、男性。身長170cm、体重75kg。早朝より激しい腹痛を訴え来院、急性膵炎と診断され入院となった。白血球数12,000/ μ L、血清膵型アミラーゼ値820IU/L、血清CRP(C反応性たんぱく質)値26.2mg/dLであった。この患者の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 入院時、輸液管理を実施した。
- (2) 腹痛が治まったので、全粥食を開始した。
- (3) 膵型アミラーゼ値が正常化したので、脂質を50g/日とした。
- (4) 退院時に、禁酒を指導した。
- (5) 退院時に、たんぱく質制限食を指導した。

137 合併症のない高血圧患者の生活指導に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 無酸素運動を勧める。
- (2) カルシウム摂取を制限する。
- (3) 飽和脂肪酸の摂取を勧める。
- (4) カリウム摂取量は、3,500 mg/日とする。
- (5) 食物繊維摂取量は、5 g/1,000 kcal とする。

138 62 歳、男性。週 3 回の維持血液透析療法を施行している。身長 165 cm、透析前体重 60 kg、ドライウエイト 58 kg、無尿、透析間体重増加量 2.0 kg(中 2 日)。透析前の検査値は、血清尿素窒素値 85 mg/dL、血清クレアチニン値 9.8 mg/dL、血清カリウム値 5.7 mEq/L、血清リン値 6.3 mg/dL。この患者の食事療法である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) カリウム 3,000 mg/日以上
- (2) リン 900 mg/日以下
- (3) エネルギー量 1,400 kcal/日
- (4) 飲水量 1.4 L/日
- (5) たんぱく質 90 g/日

139 55 歳、男性。身長 170 cm、体重 80 kg(標準体重 63.6 kg)、BMI 27.7 kg/m²、血圧 152/86 mmHg、持続性たんぱく尿を呈し、糖尿病腎症第 3 期 B と診断された。この患者の栄養基準に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー (kcal/日)	たんぱく質 (g/日)
(1)	1,200	50
(2)	1,400	50
(3)	1,400	70
(4)	1,800	50
(5)	1,800	70

140 原発性甲状腺機能低下症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清遊離トリヨードサイロニン(FT₃)値が上昇する。
- (2) 血清甲状腺刺激ホルモン(TSH)値が上昇する。
- (3) 血清総コレステロール値が低下する。
- (4) エネルギー必要量が増加する。
- (5) 脈拍数が増加する。

141 神経性食欲不振症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 中高年期に好発する。
- (2) 標準体重に比べて、10% の体重減少がみられる。
- (3) 無月経がみられる。
- (4) 高カリウム血症がみられる。
- (5) 栄養療法開始時は、2,400 kcal/日から始める。

142 不足すると、骨粗鬆症の発症リスクが高まるビタミンである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン A
- (2) ビタミン K
- (3) ビタミン B₁
- (4) ビタミン B₂
- (5) 葉酸

143 食物アレルギーに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 母乳のグロブリンは、アレルゲンとなりやすい。
- (2) 米のアミロースは、アナフィラキシーショックを起こしやすい。
- (3) 小麦のグルテニンは、アレルゲンとなる。
- (4) 肉のアレルゲン活性は、加熱により増強する。
- (5) 卵アレルギーは、耐性を獲得することができない。

144 重症感染症における栄養状態に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体脂肪量が増加する。
- (2) エネルギー消費量が低下する。
- (3) ビタミン B₁ の必要量が増大する。
- (4) 不感蒸泄量が減少する。
- (5) 窒素出納が正となる。

145 空腸の一部、回腸全体及び回盲弁を切除し、残存小腸が約 110 cm となった短腸症候群の成人患者の病態である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪性下痢
- (2) 腸内容物の通過遅延
- (3) ビタミン A の吸収障害
- (4) ビタミン B₁₂ の吸収障害
- (5) 胆汁酸の腸肝循環の障害

146 両下肢前面の全体に、熱傷を起こした成人患者の熱傷面積を、「9 の法則」を用いて評価した。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 9%
- (2) 18%
- (3) 27%
- (4) 36%
- (5) 45%

147 嚥下障害に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) パーキンソン病は、原因となる。
- (2) 咽頭期の障害では、食物の捕捉ができない。
- (3) 評価法には、水飲みテストがある。
- (4) 直接訓練では、食物を用いる。
- (5) 肺炎の原因となる。

148 ホモシスチン尿症の治療において制限すべきアミノ酸である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アラニン
- (2) メチオニン
- (3) シスチン
- (4) フェニルアラニン
- (5) グルタミン

149 妊娠高血圧症候群の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーは、40 kcal/kg 標準体重 / 日とする。
- (2) たんぱく質量は、1.0 g/kg 標準体重 / 日とする。
- (3) カリウムを制限する。
- (4) 食塩量は、3 g/日未満とする。
- (5) 水分量は、500 mL/日とする。

150 老年症候群に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 褥瘡では、低たんぱく質食とする。
- (2) 口渴感が強くなる。
- (3) 尿失禁は、脱水症の原因となる。
- (4) サルコペニアでは、筋萎縮がみられる。
- (5) 誤嚥のリスクが高いときには、口腔ケアは行わない。

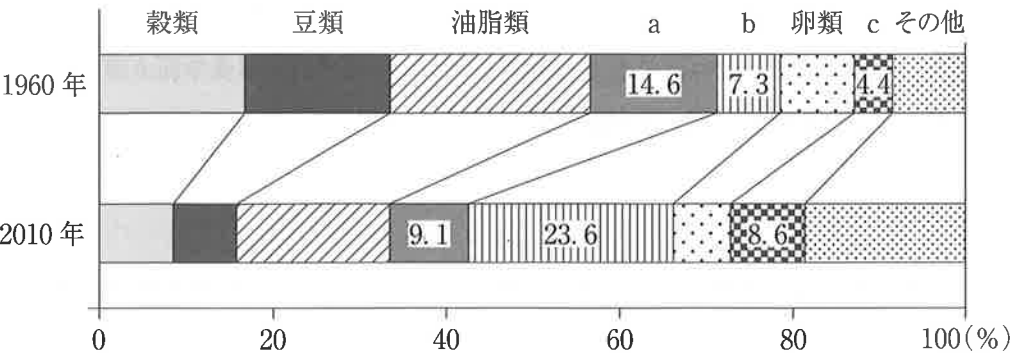
151 公衆栄養活動の考え方に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 疾病を有する者に対する治療の支援を第一の使命とする。
- (2) 集団を構成する個人は対象でない。
- (3) 地球生態系への影響を考慮する。
- (4) ヘルспロモーションの考え方を重視する。
- (5) ハイリスクアプローチでは、社会全体への働きかけを行う。

152 最近の国民健康・栄養調査の結果からみた成人の健康状態に関する記述である。

- 正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 肥満者の割合は、男性より女性で高い。
 - (2) 20歳代女性の低体重(やせ)の者の割合は、15%未満である。
 - (3) 糖尿病が強く疑われる者の割合は、50歳代で最も高い。
 - (4) 収縮期(最高)血圧の平均値は、男性より女性で高い。
 - (5) 血清総コレステロール値の平均値は、50歳以上で男性より女性で高い。

153 国民健康・栄養調査(国民栄養調査)結果における、脂質の食品群別構成比の推移を図に示した。図のa～cの食品群の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。



- a b c
- (1) 魚介類 ——— 乳類 ——— 肉類
 - (2) 乳類 ——— 魚介類 ——— 肉類
 - (3) 魚介類 ——— 肉類 ——— 乳類
 - (4) 肉類 ——— 魚介類 ——— 乳類
 - (5) 乳類 ——— 肉類 ——— 魚介類

154 食料需給表(フードバランスシート)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料需給表は、国民が消費する食料の総量を示している。
- (2) 食料需給表は、世界各国が独自の方法で作成している。
- (3) 品目別自給率は、品目別国内消費仕向量に対する国内生産量の割合である。
- (4) 供給栄養量は、粗食料に栄養成分量を乗じて算出する。
- (5) 歩留まりとは、食料の生産から貯蔵までの過程で失われる割合である。

155 健康増進法に規定されている内容である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健康増進事業実施者の責務
- (2) 行政栄養士の配置基準
- (3) 食生活改善推進員の育成
- (4) 外食料理メニューの栄養表示基準
- (5) 特定給食施設における全面禁煙

156 公衆栄養関連法規の内容と法規名の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 保健所の設置 ————— 医療法
- (2) 特定健康診査の実施 ————— 高齢者の医療の確保に関する法律
- (3) 都道府県食育推進計画の策定 ————— 健康増進法
- (4) 未熟児の訪問指導 ————— 地域保健法
- (5) 市町村による生活習慣相談の実施 ——— 栄養士法

157 栄養士法に規定する管理栄養士業務に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導を行う。
- (2) 健康の保持増進のための栄養の指導を行う。
- (3) 販売の用に供する食品の収去を行う。
- (4) 業務分野に応じた専門資格名称が規定されている。
- (5) 栄養の指導は、業務独占であると規定されている。

158 国民健康・栄養調査の実施に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域保健法に基づいて実施する。
- (2) 対象地区の抽出には、家計調査で設定された単位区を用いる。
- (3) 栄養摂取状況調査は、2日間実施する。
- (4) 個人別栄養素等摂取量の推定には、案分比率を用いる。
- (5) 血液検査は、満15歳以上に行う。

159 食生活指針(2000年)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 厚生省・文部省(当時)の2省で策定した。
- (2) 策定目的に食料の安定供給の確保がある。
- (3) 栄養素ベースで作成されている。
- (4) 受動喫煙に関する項目がある。
- (5) 項目ごとに目標値が設定されている。

160 21世紀における第2次国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最終評価は、目標設定から5年を目途に行う。
- (2) 健康寿命の都道府県格差縮小を目標としている。
- (3) 非感染性疾患(NCD)の重症化予防に関する目標がある。
- (4) ソーシャルキャピタルの活用を推進する。
- (5) 食環境整備の一環として、スマート・ライフ・プロジェクト(Smart Life Project)がある。

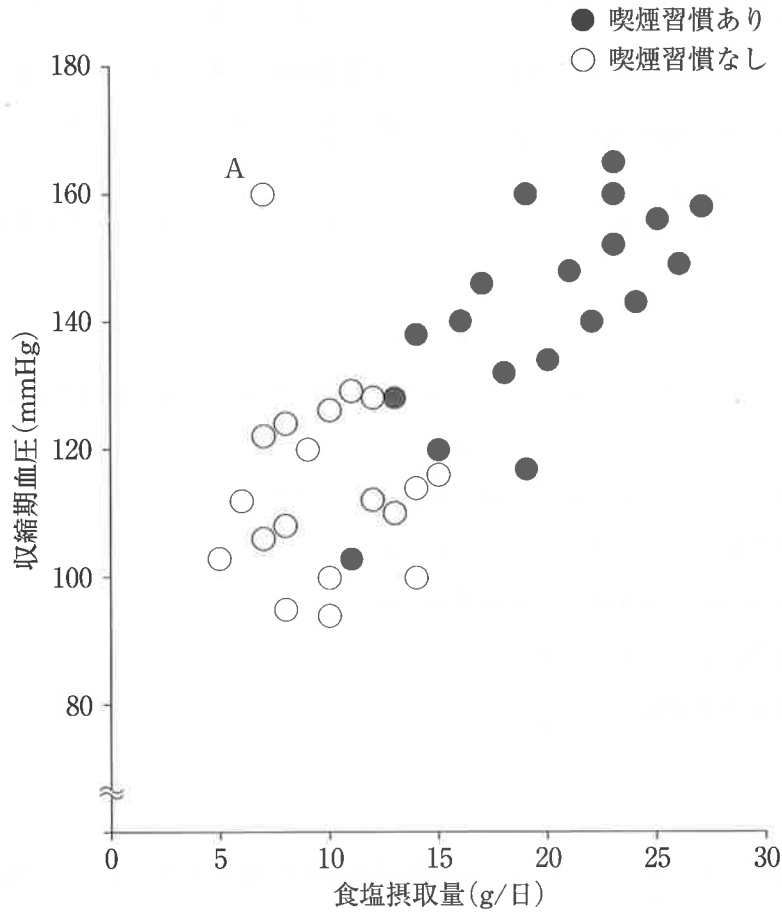
161 諸外国及び国際機関における健康・栄養政策に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 世界栄養会議(1992年)において、「食事、運動、健康に関する世界戦略」が採択された。
- (2) ミレニアム開発目標の優先課題には、極度の貧困と飢餓の撲滅がある。
- (3) 世界保健機関(WHO)は、教育機会拡大を目的とした学校給食プログラムを実施している。
- (4) 国連食糧農業機関(FAO)は、非感染性疾患(NCD)のコントロールを目的としたガイドラインを作成している。
- (5) 国際栄養士連盟(ICDA)は、栄養士業務の国際的な標準化を目指している。

162 食事調査法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 秤量記録法では、世帯単位での調査はできない。
- (2) 秤量記録法では、習慣的な食事内容の変更が生じにくい。
- (3) 24時間思い出し法では、面接者間の面接手順を統一させる。
- (4) 24時間思い出し法では、食物摂取頻度調査法と比べ調査者の負担が小さい。
- (5) 食物摂取頻度調査法では、国際的に統一された食品リストを用いる。

163 ある集団を対象に健康・栄養調査を実施し、喫煙習慣の有無別に食塩摂取量と血圧値の相関を検討したところ、図のような結果が得られた。結果の解釈に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。



- (1) 図中のデータ A を分析対象としてよいか、解析前に検討する。
- (2) 食塩摂取量と収縮期血圧には、負の相関がある。
- (3) 相関係数を用いて、食塩摂取量から収縮期血圧の予測値を計算できる。
- (4) 喫煙習慣なし群の相関は、喫煙習慣あり群より強い。
- (5) 喫煙習慣の有無による各群の食塩摂取量に差はない。

164 集団における食事摂取量データを日本人の食事摂取基準(2010年版)を用いて評価した。評価の目的と指標の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーの摂取不足の評価 ——— 推定エネルギー必要量(EER)を下回る者の割合
- (2) エネルギーの過剰摂取の評価 ——— 推定エネルギー必要量とエネルギー摂取量の平均値との差
- (3) 栄養素の摂取不足の評価 ——— 推奨量(RDA)を下回る者の割合
- (4) 栄養素の過剰摂取の評価 ——— 耐容上限量(UL)と栄養素摂取量の平均値との差
- (5) 生活習慣病の一次予防を目的とした評価 ——— 目標量(DG)の範囲を逸脱する者の割合

165 大規模な社会調査を面接法で行うことの長所である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調査員が対象者の個人情報に触れることがない。
- (2) 調査員によるバイアスがかからない。
- (3) 質問の意図が対象者に理解されやすい。
- (4) 調査に要する時間が短い。
- (5) 低予算で実施できる。

166 公衆栄養アセスメントで利用される情報とその出典の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 死因別死亡率 ————— 国勢調査
- (2) 介護が必要となった原因 ——— 国民健康・栄養調査
- (3) 外食産業における食べ残し量 ——— 国民生活基礎調査
- (4) 乳幼児身体発育値 ————— 学校保健統計調査
- (5) 授乳期の栄養法 ————— 乳幼児栄養調査

167 公衆栄養プログラムに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) コミュニティオーガニゼーションは、行政主導で行う。
- (2) 課題解決型アプローチでは、目的設定は住民が行う。
- (3) 評価計画は、プログラム終了時に立案する。
- (4) 長期計画策定は、個々の事業の円滑な運営を目的とする。
- (5) 計画策定委員会のメンバー構成は、課題に応じて決定する。

168 特定健康診査・特定保健指導のアウトカム(結果)評価に用いる指標である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域における保険者協議会の設置率
- (2) 健診・保健指導実施者の研修受講回数
- (3) 糖尿病有病者の割合
- (4) 事業主の保健指導受診への理解度
- (5) 保健指導の終了者数

169 第1次食育推進基本計画の5年後の評価で、改善が見られた評価項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) メタボリックシンドロームを認知している国民の割合
- (2) 朝食を欠食する小学生の割合
- (3) 学校給食における地場産物を使用する割合
- (4) 食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている国民の割合
- (5) 食育の推進に関わるボランティアの数

170 プリシード・プロシードモデルにおける教育・エコロジカルアセスメントの要因とその例の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 準備(前提)要因 —— 周囲の人からの支援
- (2) 準備(前提)要因 —— 起こした行動の継続への支援
- (3) 強化要因 —— 行動を起こす動機
- (4) 強化要因 —— 対象者のもつ知識
- (5) 実現要因 —— 社会資源入手の可能性

171 健康増進法に基づき、特定給食施設に関して都道府県知事が行うものとされている事項である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特定給食施設の定義を定める。
- (2) 特定給食施設開設の届出事項を定める。
- (3) 管理栄養士の配置基準を定める。
- (4) 管理栄養士を置かなければならない特定給食施設を指定する。
- (5) 特定給食施設の栄養管理基準を定める。

172 給食経営管理におけるサブシステムと帳票の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 —— 検収簿
- (2) 食材管理 —— 出勤簿
- (3) 生産管理 —— 栄養出納表
- (4) 衛生管理 —— 加熱温度記録簿
- (5) 施設・設備管理 —— 残菜調査表

173 入院時食事療養の実施に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 入院時食事療養費は、介護保険から給付される。
- (2) 食事療養部門の指導者は、非常勤の管理栄養士が就任できる。
- (3) 食事の提供たる療養の費用は、1日につき算定する。
- (4) 食事療養標準負担額は、療養環境の事項を含む。
- (5) 特別メニューの食事提供は、医師の確認を得る。

174 特定給食施設における栄養管理の留意事項に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事提供の計画は、利用者の状況を把握して行う。
- (2) 栄養の情報提供は、媒体活用等により行う。
- (3) 栄養管理の評価に必要な情報は、適正に管理する。
- (4) 栄養管理報告書は、医師の指示に基づき作成する。
- (5) 災害に備え、体制の整備に努める。

175 事業所給食における規定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 給与栄養目標量は、法令で定められた基準値を用いる。
- (2) 寄宿舍に寄宿する労働者には、体重測定を毎年2回以上行う。
- (3) 食堂の床面積は、食事の際の1人について0.5平方メートルとする。
- (4) 炊事従業員のトイレは、利用者と共用できる。
- (5) 1回100食以上又は1日250食以上の給食を行うときは、栄養士を置かなければならない。

176 経営管理のプロセスとその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 計画 —— 実施活動の指導・制限
- (2) 組織化 —— 必要な計画の是正
- (3) 指揮 —— 業務分担の明確化
- (4) 調整 —— 計画と実施の適合性の確認
- (5) 統制 —— 経営戦略の立案

177 給食経営における人的資源と、その業務内容の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 施設経営者 —— 組織目標の決定
- (2) 施設管理者 —— 経営方針の決定
- (3) 主任栄養士 —— 食事計画の担当
- (4) 調理師 —— 調理作業の統括・実施
- (5) 調理補助者 —— 調理作業の従事

178 成人を対象とする特定給食施設における、日本人の食事摂取基準(2010年版)に基づく1日当たりの給与目標量の設定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーは、推定エネルギー必要量(EER)より多くする。
- (2) たんぱく質は、推定平均必要量(EAR)とする。
- (3) 脂肪エネルギー比率は、30%を下回らないようにする。
- (4) 炭水化物エネルギー比率は、50%を超えないようにする。
- (5) 鉄は男女が混在する施設では、女性の基準を適用する。

179 特定給食施設における栄養・食事管理の目標である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 給与栄養量の設定
- (2) 材料費のコスト削減
- (3) 施設・設備の維持
- (4) 調理従事者の健康管理
- (5) 利用者の健康の保持・増進

180 事業所給食における利用者の栄養管理の結果評価項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 予定献立の栄養成分値
- (2) 生鮮食品の月別価格
- (3) 提供予定食数
- (4) 健康診断における有所見者の割合
- (5) 社員の食堂利用金額

181 調理作業管理における作業項目とその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 準備作業 —— 野菜の洗浄
- (2) 主作業 —— 調味料の計量
- (3) 付随作業 —— 盛り付け
- (4) 付帯作業 —— 作業場所の整備
- (5) 整理作業 —— 加熱機器の予熱

182 給食の直接原価の算定に用いる帳票である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品構成表
- (2) 発注書
- (3) 食品受払簿
- (4) 作業指示書
- (5) 備品点検簿

183 食材料の検収に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 検収は、すべての食品の納品完了後に一括して実施する。
- (2) 納品された食品は、食品構成表と照合する。
- (3) 検収記録簿には、食品の期限表示を記録する。
- (4) 食品の品温は、感覚的に判断して記録する。
- (5) 検収した食品は、納入容器のまま収納する。

184 クックチルシステムの導入に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 初期投資費用は低い。
- (2) 既存の加熱機器は使用できない。
- (3) 多様なメニュー提供は難しくなる。
- (4) 調理作業の繁閑の差は大きくなる。
- (5) 配食の衛生管理の点検項目は増加する。

185 もやしの大量調理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) もやしの流水洗浄(下処理)後の計量値は、減少する。
- (2) ゆで水の再沸騰までの時間は、もやしの投入量の影響を受けない。
- (3) もやしの計量値は、ゆで時間が長くなると増加する。
- (4) もやしの計量値は、加熱後に真空冷却機により冷却すると減少する。
- (5) もやしの調味は、流水洗浄後の計量値を基にする。

186 大量調理施設衛生管理マニュアルにおける調理従事者等の衛生に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 2か月に1回検便を受ける。
- (2) 化膿創がある場合は、使い捨て手袋を着用して盛り付けする。
- (3) 下痢又は嘔吐の症状がある場合は、直ちに医療機関を受診させる。
- (4) 臨時職員は、定期健康診断の対象外である。
- (5) 帽子、外衣は、2日に1回交換する。

187 給食施設におけるインシデントである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 揚げ物調理時に、揚げ油が炎上した。
- (2) 利用者が、みそ汁の中に金属片を発見した。
- (3) ガス釜点火の際、調理従事者がやけどをした。
- (4) 調理室の清掃中、床に髪の毛を発見した。
- (5) 床にこぼれた水で、利用者が転倒した。

188 給食施設の施設・設備及び機器の保全作業と最低限行うべき頻度の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜切り機の分解・洗浄 ————— 週に1回
- (2) ガス漏れ感知器の作動確認 ————— 週に1回
- (3) 排水溝・排水ますの清掃 ————— 月に1回
- (4) こん虫等の発生状況の点検 ————— 月に1回
- (5) 防火ダンパーの作動確認・点検 ————— 3年に1回

189 給食業務における作業改善と施設・設備管理の内容の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 作業動線の短縮 ————— レイアウトの見直し
- (2) 搬送作業の軽減 ————— 大型調理機器の導入
- (3) 作業環境の向上 ————— 厨房のドライシステム化
- (4) 主調理時間の短縮 ————— 合成調理機の設置
- (5) 加熱作業の効率化 ————— スチームコンベクションオーブンの設置

190 耐熱温度が100℃を超える食器・容器の材質である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ポリスチレン
- (2) ポリプロピレン
- (3) メタクリル樹脂
- (4) 塩化ビニル樹脂
- (5) ユリア樹脂

次の文を読み「191」、「192」に答えよ。

職域の健康保険組合が、平成 24 年度の特健康診査結果を、特定保健指導の実施や評価のためにデータベース化し、分析した。

- 191 データベース化に関する記述である。正しいのはどれか。2 つ選べ。
- (1) データのバックアップをとらない。
 - (2) 個人を特定できる情報は記録しない。
 - (3) 平成 23 年度の特健康診査データと比較できるようにする。
 - (4) レセプト(診療報酬明細書)データと連結させる。
 - (5) インターネットを通じてコンピュータ操作を行う。

192 血圧に関して集計した結果を表に示す。受診者における高血圧症有病者の割合である。正しいのはどれか。1 つ選べ。

受診者数(人)	血圧測定の結果(人)	問診の結果(人)
5,000	高血圧(有) 1,000	降圧薬服用(有) 600
		降圧薬服用(無) 400
	高血圧(無) 4,000	降圧薬服用(有) 800
		降圧薬服用(無) 3,200

- (1) 20%
- (2) 24%
- (3) 28%
- (4) 32%
- (5) 36%

次の文を読み「193」、「194」に答えよ。

窒素を指標として、たんぱく質の消化吸収率を求めるために、成人男性を被験者として、米を用いた試験食によるバランス・スタディを行った。被験者は、エネルギー及び窒素の平衡状態にあり、試験食からの窒素摂取量 10.0 g/日、糞便中窒素排泄量 1.6 g/日、尿中窒素排泄量 7.5 g/日、及び皮膚、毛髪、爪からの窒素損失量 0.9 g/日であった。無たんぱく質食摂取時の糞便中窒素排泄量は 1.0 g/日であり、この値を内因性損失量(内因性排泄量)とした。

193 たんぱく質の真の消化吸収率(%)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 75%
- (2) 84%
- (3) 90%
- (4) 94%
- (5) 96%

194 試験食に用いた米の栄養素に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 第1制限アミノ酸は、トリプトファンである。
- (2) ビタミン B₁ 含有量は、玄米に比べて精白米で多い。
- (3) アミロペクチン含有量は、もち米に比べてうるち米で多い。
- (4) 精白度が上昇すると、たんぱく質の見かけの消化吸収率は低下する。
- (5) 精白度が上昇すると、カリウムの含有量は低下する。

次の文を読み「195」、「196」に答えよ。

A さん、53 歳、女性。会社の特定健康診査の結果は、身長 155 cm、体重 61 kg、BMI 25.4 kg/m²、腹囲 91 cm、血圧 136/82 mmHg、空腹時血糖値 98 mg/dL、血清中性脂肪値 120 mg/dL、血清 HDL-コレステロール値 58 mg/dL であった。また、問診により以下のことが明らかになった。服薬なし。喫煙なし。通勤で 30 分程度歩いているが、日常的運動習慣はない。飲酒量は毎日缶ビール(350 mL) 1 本。朝食を抜くことがある。

195 A さんの特定健康診査における、ステップ 2 の追加リスクの数と保健指導レベルの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	追加リスクの数	保健指導レベル
(1)	0	動機づけ支援
(2)	1	動機づけ支援
(3)	2	動機づけ支援
(4)	2	積極的支援
(5)	3	積極的支援

196 A さんの特定保健指導における初回面接の支援形態である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 個別で 1 人 15 分
- (2) 個別で 1 人 30 分
- (3) グループ(8 人以下)で 30 分
- (4) グループ(8 人以下)で 60 分
- (5) グループ(8 人以下)で 90 分

次の文を読み「197」、「198」に答えよ。

46歳、男性。事務職。会社の健診で検査値の異常を指摘されて来院した。服薬なし。飲酒量は、毎日ビール大瓶2本。喫煙なし。身長168 cm、体重84 kg、ウエスト周囲長92 cm、血圧136/88 mmHg。空腹時の採血で血液検査値は、AST 36 IU/L、ALT 64 IU/L、 γ -GTP 164 IU/L、総コレステロール 213 mg/dL、HDL-コレステロール 42 mg/dL、トリグリセリド 255 mg/dL、血糖 142 mg/dL、インスリン 10.4 μ U/mL、HbA1c 7.2% (NGSP)、クレアチニン 0.76 mg/dL。尿たんぱく(－)。腹部エコー検査で脂肪肝。

197 この症例の病態に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) BMI は、26.5 kg/m² である。
- (2) 血清 LDL-コレステロール値は、120 mg/dL と算出される。
- (3) 収縮期高血圧である。
- (4) インスリン依存状態である。
- (5) 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)である。

198 この症例の食事療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 摂取エネルギー量を 2,400 kcal/日とする。
- (2) たんぱく質を 0.6 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 脂肪の摂取エネルギー比率を 10% とする。
- (4) 炭水化物の摂取エネルギー比率を 55% とする。
- (5) アルコール量をエタノール換算で 50 g/日とする。

次の文を読み「199」、「200」に答えよ。

施設 A は、社員の昼食に複数定食を提供している特定給食施設である。施設の食品群別荷重平均成分表を利用して食品構成と栄養出納表を作成している。

表 1 は、施設 A における 1 年間の肉類使用量割合とそれに対応する日本食品標準成分表 2010 の可食部 100 g 当たりのエネルギー量である。

表 2 は、定食における 10 日間の栄養出納表の抜粋である。

表 1 1 年間の肉類使用量割合と日本食品標準成分表 2010(抜粋)

食品名	使用割合 (%)	エネルギー (kcal/100 g)
ぶた(大型種肉)ばら脂身つき 生	30	386
ぶた(大型種肉)もも脂身つき 生	30	183
にわとり(若鶏肉)むね 皮なし 生	20	108
にわとり(若鶏肉)もも 皮なし 生	20	116

表 2 栄養出納表(抜粋)

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食塩相当量 (g)
期間平均給与栄養量	702	37	26	80	3.6

(給与エネルギー目標量 700 kcal)

199 表 1 に基づき肉類の荷重平均エネルギー量(kcal/100 g)を算出した。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 54
- (2) 116
- (3) 198
- (4) 216
- (5) 386

200 表 2 を用いて、献立計画の改善提案のための評価を行った。給与栄養目標量を下回る項目である。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギー
- (2) たんぱく質
- (3) 脂質
- (4) 炭水化物
- (5) 食塩相当量

平成 26 年 5 月 9 日

【照会先】

健康局がん対策・健康増進課栄養指導室

室 長 河 野 美 穂 (内線 2978)

室長補佐 芳 賀 めぐみ (内線 2333)

栄養管理係 日名子 ま き (内線 2972)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2440

第 28 回管理栄養士国家試験の合格発表

平成 26 年 3 月 23 日（日）、東京都ほか 7 地区において実施した第 28 回管理栄養士国家試験の合格者を平成 26 年 5 月 9 日（金）午後 2 時 厚生労働省、各試験地の臨時事務所国家試験担当窓口において発表しました。

なお、受験者数 21,302 名のうち合格者数は 10,411 名であり、合格率は 48.9%です。

〔配布資料一覧〕

1. 第 28 回管理栄養士国家試験の結果について
2. 第 28 回管理栄養士国家試験正答
3. 個別の理由で採点を行った問題について

1. 第28回管理栄養士国家試験の結果について

平成26年3月23日 実施

平成26年5月9日合格発表

1) 合格基準

配点を1問1点とし、次の基準を満たす者を合格とする。

総合点120点（60％）以上の者

2) 合格状況

受験者 21,302 名 合格者 10,411 名 合格率 48.9％

（参考） 年次別受験者数、合格者数、合格率

	平成23年 (第25回)	平成23年 (第25回追加)	平成24年 (第26回)	平成25年 (第27回)
受験者数	19,923	1,562	21,268	20,455
合格者数	8,067	532	10,480	7,885
合格率	40.5％	34.1％	49.3％	38.5％

3) 学校区分別合格者状況

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士養成課程 (新卒)	8,614 名	7,857 名	91.2 ％
管理栄養士養成課程 (既卒)	2,350 名	561 名	23.9 ％
栄養士養成課程 (既卒)	10,338 名	1,993 名	19.3 ％

2. 第28回管理栄養士国家試験 正答

問番号	正答	問番号	正答
1	5	51	1かつ4
2	3または4	52	2
3	5	53	4
4	4	54	3
5	2	55	4
6	1	56	3
7	2かつ3	57	4
8	3	58	2
9	5	59	2
10	2	60	3
11	4	61	5
12	4	62	2
13	1	63	4
14	1かつ4	64	1
15	4	65	5
16	4	66	4
17	5	67	3
18	2	68	2かつ5
19	2	69	3
20	2	70	4
21	1	71	5
22	5	72	1
23	4	73	3
24	2	74	1
25	3	75	2
26	5	76	1
27	3	77	3
28	4	78	3
29	5	79	2
30	3	80	1
31	2	81	3
32	2かつ4	82	5
33	2	83	4
34	4	84	5
35	5	85	4かつ5
36	2	86	5
37	5	87	4
38	1	88	3
39	2	89	2
40	3	90	1かつ2
41	1	91	4
42	5	92	2
43	4	93	2
44	1	94	4
45	2	95	3
46	4	96	5
47	5	97	2
48	2	98	2
49	1	99	1
50	1	100	1かつ4

問番号	正答	問番号	正答
101	2	151	3かつ4
102	4	152	5
103	5	153	3
104	3	154	3
105	2	155	1
106	4	156	2
107	3	157	1かつ2
108	4	158	4
109	4	159	2
110	5	160	1
111	5	161	2かつ5
112	1	162	3
113	4	163	1
114	1	164	5
115	3	165	3
116	2	166	5
117	「1かつ4」または「1かつ5」または「4かつ5」	167	5
118	1	168	3
119	1	169	4
120	3	170	5
121	2	171	4
122	1かつ4	172	4
123	5	173	5
124	2	174	4
125	5	175	2
126	5	176	4
127	3	177	2
128	5	178	5
129	2	179	5
130	3	180	4
131	3	181	4
132	4	182	3
133	3	183	3
134	5	184	5
135	4	185	4
136	1かつ4	186	3
137	4	187	4
138	2	188	4
139	4	189	2
140	2	190	2
141	3	191	3かつ4
142	2	192	5
143	3	193	4
144	3	194	5
145	2	195	2
146	2	196	2かつ5
147	2	197	2
148	2	198	4
149	2	199	4
150	4	200	4

3. 個別の理由で採点を行った問題について

午前 問2

- 2 わが国の公衆衛生の歴史上、重要な出来事である。年代順に古いものから並べた。正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 最初の保健所の設置
- b 医制の公布
- c 地域保健法の制定
- d 国民皆保険制度の導入

- (1) $a \rightarrow c \rightarrow b \rightarrow d$
- (2) $a \rightarrow d \rightarrow b \rightarrow c$
- (3) $b \rightarrow a \rightarrow d \rightarrow c$
- (4) $b \rightarrow a \rightarrow c \rightarrow d$
- (5) $b \rightarrow d \rightarrow a \rightarrow c$

採点上の取扱い

(3) または (4) を選択したものを正解として採点する。

理 由

設問の c について、2通りの解釈ができるため、2つの解答を正解として採点する。

午後 問117

117 グループダイナミクスの効果が期待される学習形態である。正しいのはどれか。
2つ選べ。

- (1) ワークショップ
- (2) レクチャー
- (3) シンポジウム
- (4)ブレインストーミング
- (5) ロールプレイ

採点上の取扱い

「(1) かつ (4)」または「(1) かつ (5)」または「(4) かつ (5)」を選択したものを正解として採点する。

理 由

3つの選択肢が正解であるため、3通りの解答を正解として採点する。